第三種郵便物認可　　月刊浪曲　5月号　1998年4月25日発行

師匠と弟子の物語

澤孝子（さわたかこ）

「毎日がいい芸を生み出すための陣痛です」

写真・森　幸一ほか　文・おさだ衛

さわ たかこ 千葉県銚子市の出身。14歳で二代目・広澤菊春に入門。広澤菊奴の芸名で初舞台。昭和36年、一座の座長となり澤孝子に改名。昭和57年度、文化庁芸術祭では『ぢいさんばあさん』で優秀賞。十八番は『徂徠豆腐』『竹の水仙』『春日局』『姿三四郎』ほかケレンから時代物、偉人伝とネタは幅広い。浪曲界の将来の大看板。独身。趣味は書道。

澤孝子が新作にかける意気込みは、すさまじい。充実した新作を次々と発表する姿勢は高く評価されている。関東を代表する芸豪に、弟子の育成や浪曲界の将来について聞いてみた。

「浪曲は私の命。死ぬほど好きなんですよ」

孝子師の高座には独特の緊張と緩和がある。観客を引き付ける魔力と、芸の神様が孝子師に取り付いて演じさせているような迫真力を感じさせる。

「ひとつひとつの浪曲の女主人公の生き方を語ることで、女の命を私は何人分も充分に生きてきました」

孝子師はみずから演じる『二十三年』（作・山本周五郎）の一節の「嫁にゃ行かねど子は産まねども」を自分の生き方に、なぞらえている。

師匠・広澤菊春。「芸人としての生き方を伝授していただきました。言葉には言い尽くせない恩と思い出があります。この写真で、師匠は浴衣がさねです。なんとも粋ですよね」

「嫁にゃ行かねど子は産まねども、弟子を育てて、良い芸を産む陣痛の苦しみと子を持つ喜びを味わっています」

孝子師に芸の真髄をたたきこんだ師匠、二代目・広澤菊春（昭和39年に没、50歳）が今も心に住んでいる。

「芸に一途で、高座だけでなく普段の生活も芸そのものの粋な、しゃれた方でした。浪曲版・初代の桂春団治かな。春団治ほど人に迷惑はかけませんでしたけど」

師・菊春は背筋を伸ばして歩け、なりは崩すな、本を読め、芝居・映画やスポーツなど話題になっているものはすべて見ておけ、と教えた。

「芸が金を稼いでくれる。芸人には芸だけあればいいと、師匠を見て思いましたよ」

孝子師には現在、女性の弟子が二人いる。澤恵子と澤順子だ。両人とも昨年デビューしたのだが、ひたむきさと高座が「かたちになっている」ことで評判は上々だ。

「恵子も順子も、ある程度の年齢から浪曲の世界に飛び込んできた人だから10年かかるものを1年で覚えさせようと厳しく教えています。ですから二人には浪曲の節も、ひととおり全部おしえてあります」

5月3日、東京は三宅坂の国立劇場演芸場で「大演芸まつり」の浪曲大会

が開かれる。孝子師は恵子、順子と師弟競演で『蝶々夫人』（涌井和夫・脚本、大西信行・演出）を演じる。（詳しくは本誌14ページ）

「世界の人が知っている日本の女の物語です。わかりやすい浪曲で蝶々夫人がどのように生きて死んでいったかを日本の人に知ってもらいたいのです」

6月28日（日）には浅草・木馬亭にて、「第十回 浪花ぶし澤孝子の会」を開く。弟子の澤恵子や澤順子も出演するが、男の弟子である高瀬一郎（コロムビアレコードの新進歌手）も一席つとめる。

「高瀬は歌手ですから、3コーラスで一つの物語を歌い上げる技を持っているはずです。その技を生かして10分たらずで『唐人お吉』のドラマを語らせたいと思っています」

昭和52年、民音の浪曲ミュージカルの『羅生門の盗賊たち』で主役に抜擢され一躍、脚光を浴びた。（右は玉川勝太郎）

弟子の育成にも熱心な孝子師だが、新作の発表も精力的だ。

「古典には古典の素晴らしさがありますが、私は新作で人の心を新しい感覚で語りたい。テーマをはっきり持って節まわしは浪曲の伝統的なやり方で」

孝子師にはブレーンとして劇作家・大西信行氏がいるが新たに涌井和夫さんという作家が作品を提供している。

「涌井さんを文芸部と呼んでいるんです。ははは。曲師も三味線教室から佐藤貴美江が育っています。弟子、三味線、文芸部で澤孝子一座としたいですね」

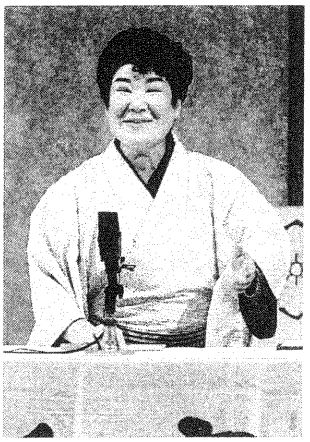
一座とは豪気なはなしで景気がいい。澤孝子一座の繁栄が浪曲の復活につながるはずだ。

「浪曲を志した若い人たちに浪曲が商売になる土壌を作ってあげたい。浪曲の世界は、まだまだ取り返しがつくんです。この業界をダメにしては、いけないんです」

芸歴40年以上のベテランが理想の浪曲をめざして本格的に行動を開始した。

孝子師が好む言葉は和だ。まわりの人たちとの和を大切にしつつ、孝子師の「炎の芸」が浪曲に革新の嵐を巻き起こす日は近い。

昭和56年ころ。中央が孝子師。左は大西信行氏。「大西先生は恩師なきあとの神様のような存在。浪曲の生き字引です。浪曲を愛し、私たちを本音で指導してくださってます」



澤歌耕という号の書道家でもある。「14歳から師匠の代筆をしてました。浪曲と書道には緩急や間など多くの共通点があります」

浪曲…これほどすばらしい芸は他にはないと思います。

39/52

浪曲家の皆さん…頑張って下さい。

多くのファンを楽しませて下さい。

葛飾区・坂本豊吉